

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	12.041	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>Ethnic-specific meta-analyses of association between the OPRM1 A118G polymorphism and alcohol dependence among Asians and Caucasians.</p> <p>アジア人と白人における OPRM1 A118G 多形性とアルコール依存との関連について、民族特異的なメタ分析</p>		
<b>執筆者</b>		
Chen D, Liu L, Xiao Y, Peng Y, Yang C, Wang Z.		
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>		
Drug Alcohol Depend. 2012;123:1-6.		
<b>キーワード</b>		
オピオイド受容体、Mu-オピオイド受容体遺伝子、アルコール依存、アルコール中毒、メタ分析		
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的:</b></p> <p>多くの研究で OPRM1 A118G 多形性 (rs1799971) とアルコール依存との関連が調査されてきたが、一致した結果が得られていない。これらの関連をより理解するために、民族特異的なメタ分析を行った。</p> <p><b>方法:</b></p> <p>科学データベースから 2011 年 4 月 12 日までに公開されたすべての文献を分析対象とした。Fixed-および random-effect model を適切に用いて民族特異的なメタ分析を行った。</p> <p><b>結果:</b></p> <p>1,900 のケースおよび 2,382 の対照を含む 12 の独立した研究をメタ分析の対象とした。5 つの研究はアジア人を対象としたものであり、残りの 7 つは白人を対象としたものであった。民族特異的なメタ分析により、A118G 多形性はアジア人におけるアルコール依存と関連を認めたが (GA vs. AA: オッズ比 1.73; 95%信頼区間 1.33-2.25; GA+GG vs. AA: オッズ比 1.57; 95%信頼区間 1.22-2.02)、白人では関連を認めなかった (GA vs. AA: オッズ比 1.05; 95%信頼区間 0.75-1.49; GA+GG vs. AA: オッズ比 1.11; 95%信頼区間 0.79-1.55)。</p> <p><b>結論:</b></p> <p>OPRM1 A118G 多形性は白人ではなくアジア人におけるアルコール依存の感受性に寄与している可能性がある。</p>		